

横浜支局 〒231-0007 横浜市中区弁天通4-52
ナインティー横浜ビル4階 電話:045-201-1151
FAX:045-201-1046 Eメール:yokohama@tokyo-np.co.jp

川崎支局 〒210-0006 **横須賀支局**
川崎市川崎区砂子1-1-14 JTB川崎共同ビル5階 046-822-0126
電話:044-222-1011 FAX:044-245-9514

鎌倉 0467-45-6428
藤沢 0466-28-8359
小田原 0465-32-1272
相模原 042-752-3377
厚木 046-222-4500
麻生 044-966-8908
中原 044-733-0750

購読のお申し込み
0120-026-9999
配達・集金お問い合わせ
03-6910-2556
広告のご用命
045-201-1155

かいせき工房 金沢八景
かいせきコース かいせき弁当
昼11時～2時30分、夜5時～9時30分 TEL.045(701)0900

横浜

「横浜ドームを実現する会」

プロ野球・横浜ベイスターズの新たな本拠地として、横浜市内にドーム球場の建設を目指す「横浜ドーム構想」で、市内の企業経営者らで組織する「横浜ドームを実現する会」は二十一日、市に市有地の貸し出しの検討などを求める要望書を提出した。同会の池田典義会長は、建設費用や手法などの具体的な計画について「二年ぐらいで形が見えるようにしたい」と説明した。

市有地貸し出しを

要望書 提出 会長「2年で計画形に」

市長「共感も財政は厳しく」

市に提出された要望書によると、建設候補地をみなどみらい21地区(同市西区)の市有地と想定し、定期借地権などによる土地提供の検討▽建設費を捻出するため、企業や市民が出資しやすい制度づくり▽ドームが経済活性化になるとして、必要性を市の中期計画に位置付けるなどを求めている。

林文字市長は「思いがけにした。建設費は他都市のドーム球場を参考にし、三百億～七百億円との見方を示し、二年程度で結論を出したい」と述べるにとどまっていた。

また「夢があり、経営がうまくいくことが分れば、経営主体になる企業が五、六社、出てくると思う。それにより、実現性が生まれてくる」と展望した。

池田会長らは会見で、来年早々に事業費や建設手法などを検討する「横浜ドーム建設準備協議会(仮称)」を設立することを明らかにした。

池田会長は「市民に夢のあるドームに賛同してもらい、ドームを造ることで、どんな夢を実現できるかを提示する」と述べた。



林市長(左)に要望書を手渡す池田会長(右)＝市役所で